

Net De アンケート 消費者に 昨年の食肉購買状況をきく

「牛肉離れ」が顕著 代わりに豚肉と鶏肉が増える

昨年の食品業界は表示問題に揺れた年であった。年初から年末までさまざまな食品の業界で問題が発生し、追及されることになった。食肉業界についても例外ではなく、大きな問題として取り上げられる事件も発生した。“消費者の食肉離れ”を加速させるような出来事だ。

今回の「ネットでアンケート」では昨年（1～10月）の食肉の購買状況をきいた。果たして、食品の表示問題に揺れた昨年の食肉の購買状況はどうであったか。主に回答割合の高かった都道府県別と北海道、福岡の回答を中心にアンケート結果をみていこう。

アンケート実施期間は11月下旬から12月上旬にかけて。有効回答数は1,392件。男性の割合が45.9%、女性が54.1%。都道府県別の割合は東京11.5%、大阪8.0%、神奈川7.5%、愛知6.0%、埼玉5.7%の順となった。

●購入量は「変わらない」トップ

Q1 昨年と比較して、ことしの食肉（牛、豚、鶏）を買う量（1カ月あたり）

アンケート全体の回答で、1番割合が高かったのは「変わらない」の56.5%となり半数以上の割合を占めた。消費者の食肉離れがいわれているが、アンケートでは半数以上の人昨年と変わらず、食肉を購入している。「かなり増えた」という回答は2.7%と低かったが、「増えた」という回答は22.4%あり、「かなり増えた」という回答と合わせると、3割以上の人が食肉を買う機会が増えたと回答していることになる。

一方、「かなり減った」という回答は2.7%、「減った」という回答は14.4%となり、食肉を買う量が減ったという人は2割に満たない結果となった。このアンケートをみる限りでは食肉を買う量が減ったという人よりも、量が増えたという人の方が多かったことになる。

では都道府県別にこの質問をみてみよう。

東京 「変わらない」という回答が60%となり、平均の回答割合を少し上回っている。「かなり増えた」が3.1%となり若干、平均値を上回ったが、「増えた」の回答は19.4%となり、全体の平均値よ

りも下回った。また「かなり減った」が2.5%、「減った」が13.1%となり全体的な平均値を下回った。東京に関してみれば、「変わらない」という回答に少し集中したようだ。大阪 「変わらない」という回答が57.3%となり、平均値を少しだけ上回る結果に。「増えた」という回答も25.5%で平均値を少しだけ上回る割合となった。

神奈川 「変わらない」と回答があったのが46.7%となり、全体的な平均値よりも10%近く低い割合となった。「増えた」と回答のあった割合は25.7%となり、全体よりも3%以上高くなった。しかし、「減った」との回答も17.1%となり、こちらも3%近く高い数値に。「変わらない」という割合が「増えた」と「減った」という回答に流れたようだ。

愛知 「変わらない」が51.8%となり、全体よりも低くなった。「増えた」と回答した人は27.7%となり、こちらは全体的な平均値よりも5%以上高くなっている。

埼玉 「変わらない」と回答した人は50%となり、全体的な平均値よりも7%近く低くなった。そ

Q1 昨年と比較して、今年の食肉（牛、豚、鶏）を買う量（1カ月あたり）

かなり増えた	2.7%
増えた	22.4%
変わらない	56.5%
減った	14.4%
かなり減った	2.7%
わからない	1.4%

Q1 昨年と比較して、今年の食肉（牛、豚、鶏）を買う量（1カ月あたり）

	東京	大阪
かなり増えた	3.1%	1.8%
増えた	19.4%	25.5%
変わらない	60.0%	57.3%
減った	13.1%	11.8%
かなり減った	2.5%	1.8%
わからない	1.9%	1.8%

の分、「増えた」の回答割合が25.6%、「減った」と回答した人の割合が20.5%となった。

北海道 「変わらない」と回答した人の割合は52.6%とやはり全体的な平均値よりも低かったが、「増えた」と回答した人が31.6%と3割以上を超えた。また「減った」という人は12.3%となり全体的な平均値を下回った。

福岡 「変わらない」の回答割合は55.4%と全体的な平均値とほぼ、同割合となった。しかし件数は少ないが「かなり増えた」が5.4%あり、また「増えた」の割合も28.6%と全体的な平均値を超えており、増えたと回答した人の割合は、この2つを合わせると3割以上となった。

Q2 「かなり増えた」「増えた」と回答された方におききします。おおよそで結構です。その量は

3倍以上増えた	4.6%
2.5倍くらい増えた	3.4%
2倍くらい増えた	21.9%
1.5倍くらい増えた	47.0%
少し増えた	23.1%

Q2 「かなり増えた」「増えた」と回答された方におききします。おおよそで結構です。その量は

	東京	大阪
3倍以上増えた	0.0%	0.0%
2.5倍くらい増えた	0.0%	9.7%
2倍くらい増えた	27.8%	38.7%
1.5倍くらい増えた	44.4%	35.5%
少し増えた	27.8%	16.1%

Q3 「かなり減った」「減った」と回答された方におききします。おおよそで結構です。その量は

5分の1くらいになった	4.0%
4分の1くらいになった	5.3%
3分の1くらいになった	12.6%
2分の1くらいになった	23.1%
少し減った	55.1%

●「増えた量」は1.5倍が多い

Q2 「かなり増えた」「増えた」と回答された方におききします。おおよそで結構です。その量は

「1.5倍くらい増えた」と回答した人の割合が1番多く、47%と5割近い数値となった。次が「少し増えた」の23.1%、「2倍くらい増えた」が21.9%で続いている。

東京 「1.5倍くらい」増えたの回答が44.4%となり全体的な平均値を若干下回った。「少し増えた」と「2倍くらい増えた」がともに27.8%となった。

大阪 1番回答割合が高かったのは「2倍くらい増えた」の38.7%で、次が「1.5倍くらい増えた」35.5%という結果になった。「少し増えた」が16.1%となり、全体的な平均値とは違った割合を示している。

愛知 「1.5倍くらい増えた」の

回答割合が高く、66.7%と5割を超えて、全体的な平均値よりも高い数値となった。「2倍くらい増えた」が22.2%の割合となり、若干ではあるが、こちらも全体的な平均値を超えた。「少し増えた」の回答は3.7%と全体的な平均値を、こちらは大きく下回った。

埼玉 「1.5倍くらい増えた」との回答が61.9%となり全体の6割以上を占めた。全体的な平均値と比較してもこの割合は15%近くアップしている。「少し増えた」の回答割合は23.8%となり、ほぼ全体の平均値並み。「2倍くらい増えた」の回答割合は14.3%となっている。

●「少し減った」はほぼ半分

Q3 「かなり減った」「減った」と回答された方におききします。おおよそで結構です。その量は

「少し減った」の回答割合が55.1%となり5割以上を占めた。次が「2分の1くらいになった」の回答割合が23.1%で、「3分の1くらいになった」が12.6%で続いている。「少し減った」との割合が5割以上を占めて、食肉離れとはいっても、大半の人がそれほど買い控えてはいないように思える。

東京 「少し減った」が64%で全体的な平均値よりも高くなっている。「2分の1くらいになった」

かし、「4分の1くらいになった」と「5分の1くらいになった」の回答割合を合わせると9.3%となり、1割近い人が昨年より食肉を買う量が25%以下になったと回答している。

東京 「少し減った」が64%で全体的な平均値よりも高くなっている。「2分の1くらいになった」

との回答は20%で、こちらは全体的な平均値より下回っている。

大阪 「少し減った」の回答が66.7%となり、こちらも全体的な平均値よりも大幅に高くなっている。このアンケートみる限りでは東京、大阪ともに食肉の購買を控

えるという人の、買い控えの量はそれほど多くないようだ。

愛知 「2分1くらいになった」の回答割合が1番高く、46.2%と5割近い数字になった。次いで「少し減った」が38.5%で続いている。

●「牛肉離れ」如実に出る

Q4 ことし1番買ったと思われるお肉は何ですか

以前は焼き肉用という牛肉がメインであったが、米国産牛肉の禁輸により、その図式は変わってしまった。いまや、豚肉が焼き肉用としての使用を広げつつあるようだ。

アンケートにもその影響は出ているようで、「豚肉」の回答割合が1番高く、53.8%と全体の半数を占める結果になった。「牛肉」は18.8%となり、「鶏肉」の25.7%にも及ばない数値となった。食肉離れはイコール牛肉離れということなのだろうか。

東京 「豚肉」の割合が61.6%となり、全体的な平均値よりも高くなった。これにより、牛肉(13.2%)との差はより一層大きくなっ

た。ちなみに「鶏肉」は24.5%となり全体よりも低い数値に。

大阪 これまで関西は牛肉が精肉販売の中心的な存在であった。それがやはり様変わりしつつあるようだ。「豚肉」が44.1%でトップで次いで「鶏肉」の27.9%。牛肉は27%となった。全体的な平均値と比較してみれば、「牛肉」の割合は高くなっているが、それでもやはり豚肉との差は10%以上ある。

北海道 豚肉の割合は高く61.4%と6割以上。牛肉は3.5%となり、全体的な平均値よりもかなり低い割合となった。「豚肉」と「牛肉」の差は実に50%以上の差が出ている。

●牛肉の購入多いのは8月

Q5 1月から10月までで1番牛肉を買ったと思われる月は

牛肉といえば、大きく焼き肉用とスライス用に分けられるが、そ

れぞれ、売れ筋の季節は違ってくる。冬はスライス、夏は焼き材と

Q4 ことし1番買ったと思われるお肉は何ですか

牛肉	18.8%
豚肉	53.8%
鶏肉	25.7%
羊肉	1.3%
その他	0.5%

Q4 ことし1番買ったと思われるお肉は何ですか

	東京	大阪
牛肉	13.2%	27.0%
豚肉	61.6%	44.1%
鶏肉	24.5%	27.9%
羊肉	0.0%	0.9%
その他	0.6%	0.0%

Q5 1月から10月までで一番牛肉を買ったと思われる月は

1月	22.6%
2月	4.5%
3月	2.2%
4月	4.6%
5月	4.4%
6月	2.2%
7月	10.9%
8月	25.5%
9月	7.0%
10月	16.1%

Q5 1月から10月までで1番牛肉を買ったと思われる月は

	東京	大阪	神奈川	愛知
1月	25.8%	26.4%	27.0%	25.9%
2月	7.9%	1.4%	7.9%	1.9%
3月	1.1%	1.4%	1.6%	0.0%
4月	6.7%	1.4%	7.9%	1.9%
5月	6.7%	1.4%	4.8%	5.6%
6月	2.2%	2.8%	1.6%	1.9%
7月	5.6%	12.5%	7.9%	14.8%
8月	16.9%	30.6%	15.9%	27.8%
9月	7.9%	6.9%	4.8%	3.7%
10月	19.1%	15.3%	20.6%	16.7%

Q6 1月から10月までで1番豚肉を買ったと思われる月は

1月	8.5%
2月	7.3%
3月	4.5%
4月	7.2%
5月	4.7%
6月	5.5%
7月	12.5%
8月	22.4%
9月	11.3%
10月	16.2%

Q6 1月から10月までで1番豚肉を買ったと思われる月は

	東京	大阪	神奈川	愛知
1月	6.7%	18.8%	6.3%	13.0%
2月	9.0%	15.6%	1.6%	2.2%
3月	1.1%	4.7%	6.3%	8.7%
4月	9.0%	10.9%	4.8%	6.5%
5月	2.2%	4.7%	6.3%	2.2%
6月	13.5%	1.6%	6.3%	4.3%
7月	11.2%	7.8%	12.7%	23.9%
8月	20.2%	15.6%	28.6%	21.7%
9月	12.4%	6.3%	9.5%	6.5%
10月	14.6%	14.1%	17.5%	10.9%

いった具合に。アンケートでは如実にその傾向が表れたようだ。

1番回答割合が高かったのが、「8月」の25.5%で、次が「1月」の22.6%。「10月」が16.1%で続いている。やはり冬はすき焼きなどの鍋物、夏は焼き肉用が定番というすみ分けが消費者の中でも出来ているのだろう。

東京 「1月」が25.8%で最も高い支持を受けている。次いで「10月」が19.1%、「8月」が16.9%で続いており、トップ3は全体的な平均値とは違う結果となった。

大阪 「8月」が30.6%と3割を超えた。次いで「1月」の26.4%

●豚肉の購入も8月に多い

Q6 1月から10月までで1番豚肉を買ったと思われる月は

当初は手探り状態で始まった感のある豚肉の焼き肉アイテムだが、その存在は、精肉売り場の中でも定番化し、消費者にも十分、浸透してきたといえるだろう。

アンケートでも焼き肉シーズンである夏場によく豚肉を買ったとの回答結果が出た。「1月」から「6月」までは1ケタ台の支持だったが、「7月」に入ると突然伸びて12.5%の2ケタになり、「8月」には最高の22.4%の支持割合となった。

大阪 1番回答割合が高かったのが、「1月」の18.8%。次いで「2月」と「8月」が同率の15.6%で並んだ。「1月」は鍋物用のス

となっており、この両月で5割以上を占めた。

神奈川 東京と同じように「1月」が27%で1位に。次が20.6%の10月で、3位に15.9%の「8月」が続いている。トップ3をみれば東京と同じ順位となっており、割合もほぼ似通った結果となっている。

埼玉 「1月」が41.2%と4割を超える支持を集めた。2位が「8月」の13.7%となっており、1位と2位の差は25%以上となった。3位はほかの都道府県とは少し違っており、11.8%で「5月」が続いている。

ライス材中心が売れたと考えられるが、2位に「8月」が入ったということは、これまで焼き肉は牛肉中心だった関西でも豚肉の焼き肉用が浸透してきたということなのだろう。

愛知 「7月」の回答割合が1番高く23.9%となった。次が21.7%の「8月」。「1月」が13%で続いている。

埼玉 回答割合が1番高かったのが「8月」の19.6%であったが、10%を超えた月が「2月(13%)」「4月(15.2%)」「7月(13%)」「9月(10.9%)」とほかの都道府県と比較して分散した結果となっている。

Net De アンケート

福岡 「10月」の回答割合が1番高く31.3%と3割オーバー。次が「8月」の25%となり、これ以外の月はすべて1ケタ台。この両月に人気集中した。

●10月に多い鶏肉の購入

Q7 1月から10月までで一番鶏肉を買ったと思われる月は

鶏肉の代表的な定番料理とは何かと考えてみた。やはり「水炊き」や「唐揚げ」になるのだろうか。このうち唐揚げは家庭のテーブルで供されることも多いが、弁当のおかずなどにも利用される機会の多いメニュー。いわばオールシーズンメニューで、季節的な需要の偏りはあまり見受けられない。

アンケートでは「10月」の回答割合が1番高く、20.5%と2割オーバー。次いで「8月」の14.2%が続く。「1月」と「9月」が10.2%の同率で3位になっており、アンケートをみる限りでは夏場、冬場によく買われていたという結果になった。

アンケートを実施した時期の都合で12月が入っていないので、これがもし12月が項目に入れば、また違った結果になったのかもしれない。

東京 トップは18.1%の「8月」。次が「5月」と「10月」が12.5%で続く。「5月」は全体的な平均値で7.4%となっており、その差は5%以上。全国的な数値からみれば意外な月なのかもしれな



いが、行楽用に鶏肉を使う人が結構いたのかもしれない。

大阪 1番回答割合の高かったのは「10月」の30.4%。3割を超えており、全体的な平均値よりも10%近く高くなっている。次が「2月」の14.3%で続いているが、「2月」というのはかなり予想外といえる月であろう。「なぜ2月?」。考えられるのは鍋物需要の増加と、お正月で緩んだ財布の紐を少しでも締めようという気持ちの現れか。

神奈川 「10月」の回答割合が高く20%とほぼ全体の平均値並みの数値。2位が「9月」の18.2%で1位と2位の差はわずかだ。「1月」と「4月」が12.7%で続いており、「4月」の支持はやはり、弁当なので使用する機会の増える行楽需要が支えているのでは考えら

Q7 1月から10月までで一番鶏肉を買ったと思われる月は。

1月	10.2%
2月	8.3%
3月	5.8%
4月	9.0%
5月	7.4%
6月	6.5%
7月	7.8%
8月	14.2%
9月	10.2%
10月	20.5%

Q7 1月から10月までで一番鶏肉を買ったと思われる月は。

	東京	大阪	神奈川	愛知
1月	9.7%	7.1%	12.7%	8.3%
2月	5.6%	14.3%	5.5%	8.3%
3月	5.6%	10.7%	3.6%	8.3%
4月	9.7%	3.6%	12.7%	8.3%
5月	12.5%	12.5%	3.6%	5.6%
6月	8.3%	3.6%	7.3%	8.3%
7月	9.7%	10.7%	5.5%	8.3%
8月	18.1%	1.8%	10.9%	11.1%
9月	8.3%	5.4%	18.2%	11.1%
10月	12.5%	30.4%	20.0%	22.2%

Q8 ことし、スーパーや専門店で牛肉を買うときに使った平均的な金額は（1回の買い物あたり）

200円以下	2.1%
201～400円	6.8%
401～600円	18.9%
601～800円	15.8%
801～1,000円	19.7%
1,001～1,200円	11.0%
1,201～1,400円	5.1%
1,401～1,600円	6.2%
1,601～1,800円	2.3%
1,801～2,000円	4.1%
2,001円以上	8.0%

●牛肉の買い物は1,000円まで

Q8 ことし、スーパーや専門店で牛肉を買うときに使った平均的な金額は（1回の買い物あたり）

「801～1,000円」の回答割合がとっている。高く、19.7%とほぼ2割近い数値大阪 アンケート全体のトップとなった。次が18.9%で「401～600円」が続き、この1位と2位1割を切っており、大阪全体ではの差は1%もない。3位には「601～800円」が15.8%で入り、この他の都道府県と比較してもかなり低い数値だ。1位は17.9%の「401～600円」であったが、「1,001～1,200円」が17%となっており、その差はわずか。また「2,001円以上」という回答が10.4%と1割を超えているのも特徴。

福岡 「401～600円」が34.6%で3割以上という支持を集めてトップとなった。次が17.3%の「801～1,000円」で、「601～800円」が11.5%で続いている。

●豚肉の購入金額は600円まで

Q9 ことし、スーパーや専門店で豚肉を買うときに使った平均的な金額は（1回の買い物あたり）

Q9 ことし、スーパーや専門店で豚肉を買うときに使った平均的な金額は（1回の買い物あたり）

200円以下	2.8%
201～400円	22.6%
401～600円	32.9%
601～800円	17.4%
801～1,000円	12.1%
1,001～1,200円	5.3%
1,201～1,400円	3.0%
1,401～1,600円	1.3%
1,601円以上	2.7%

「401～600円」が32.9%でトップ。次いで「201～400円」が22.6%、「601～800円」が17.4%続いている。「801～1,000円」も12.1%と1割を超えており、これ以外の価格帯はすべて1割を切っている。牛肉に比べて価格帯はばらけておらず、その集中度はかなり高いようだ。

大阪 「401～600円」は17.8%

集中度は高くなっているようだ。%で、この2つの価格帯で70%を福岡 「401～600円」が42.9% 締めており、やはり価格帯への集度で1位。次が「201～400円」の30.4 度は高いといえる。

●鶏肉も600円まで多い

Q10 ことし、スーパーや専門店で鶏肉を買うときに使った平均的な金額は（1回の買い物あたり）

「401～600円」が33%で1位。だが、北海道と埼玉で「401～600円」の支持率がともに4割を超え、福岡では「201～400円」の割合が4割を超える結果になった。それほど大きな差はみられなかつ

●食肉総菜はスーパーで8割

Q11 ローストビーフや牛肉のタタキ、焼き豚、トンカツ、コロケ、テリヌ、鴨肉のくん製などの食肉総菜はどこで購入しましたか

簡便性の高い総菜はこれからも都道府県別にみてもスーパーの需要が伸びていく有望な市場。割合は圧倒的で、北海道、愛知では8割を超える支持を集めた。神奈川ではデパートの割合が19.8%となり2割に迫る競る支持を集めており、逆にスーパーの支持は70.3%とかなり高くなり、その差は6割以上。

●クリスマスに鶏モモ肉4割

Q12 ことしのクリスマスに食べる予定の食肉を使った料理（またはオードブル）は？

クリスマスというやはり鶏肉期間。しかし、昨年のクリスマス関係の料理が連想されるが、鶏肉は事情が違っていたようだ。鶏肉売り場にとって最も活気を呈するに苦勞するスーパーが多か

Q10 ことし、スーパーや専門店で鶏肉を買うときに使った平均的な金額は（1回の買い物あたり）

200円以下	5.1%
201～400円	31.6%
401～600円	33.0%
601～800円	16.1%
801～1,000円	7.3%
1,001～1,200円	3.8%
1,201～1,400円	1.0%
1,401～1,600円	0.9%
1,601円以上	1.0%

Q11 ローストビーフや牛肉のタタキ、焼き豚、トンカツ、コロケ、テリヌ、鴨肉のくん製などの食肉総菜はどこで購入しましたか

デパート	12.0%
スーパー	78.5%
街の食肉専門店総菜	5.3%
街の総菜専門店	2.2%
その他	2.0%

Net De アンケート

Q 12 ことしのクリスマスに食べる予定の食肉を使った料理（またはオードブル）は？

鶏の丸焼き	6.7%
鶏のモモ焼き	43.9%
ターキー	3.8%
鴨肉のくん製	0.8%
ローストビーフ	12.6%
テリーヌ	0.6%
ハム（ソーセージ）	5.9%
食べる予定なし	17.6%
その他	8.1%

Q 13 来年の年始（1月1日～3日）に食べる予定の肉料理は？

すき焼き	39.8%
焼き肉	12.9%
しゃぶしゃぶ	14.0%
ステーキ	3.9%
ハンバーグ	1.6%
しょうが焼き	1.7%
トンカツ	1.0%
その他	7.9%
旅行に行くので家庭では食べない	2.9%
肉料理を食べる予定はない	14.3%

ったさく。荷がなかなか集まらず鶏肉の手当てが困難であったことや、大きさがかなり小さかったということがその要因だ。

アンケートではやはり「鶏のモモ焼き」が強く43.9%と4割以上の支持を集めた。次が「食べる予定なし」の17.6%が続いており、クリスマスだからといって特別な料理は食べないという人も1割以上いたことになる。「ローストビーフ」が12.6%で第3位に入っている。

都道府県別にみると「北海道」と「大阪」で「鶏のモモ焼き」は50%を超えており、逆に「東京」「埼玉」「福岡」で40%を切っている。「東京」はローストビーフが20%を超える支持を集めた。



●やはり年始にはすき焼きが

Q13 来年の年始（1月1日～3日）に食べる予定の肉料理は？

三が日は晴れの日の代名詞で、ふだんは目にすることがないようなおせちなど豪華な料理が並んだものだった。食肉関係の料理に関してもすき焼きやしゃぶしゃぶなどの「ご馳走」といえるメニューが定番であったといえる。

アンケートでは「すき焼き」の割合が1番高く39.8%と4割近くになったが、果たしてこれを多いとみるか、少ないとみるか。次が「肉料理を食べる予定はない」の14.3%でこれも、多いとみるか、少ないとみるかは判断が分かれるところ。

東京 「すき焼き」が37.9%で全体的な平均値よりも少し低い割合

に。「しゃぶしゃぶ」が17.6%で2位に来ているが、「肉料理を食べる予定はない」という回答割合も17%あり、この2つはわずか。

大阪 「すき焼き」は43.6%で全体的な平均値を上回った。2位には「しゃぶしゃぶ」の18.2%が続き、「焼き肉」の14.5%が3位となっている。「肉料理を食べる予定はない」は10.9%となり、全体の平均値を下回った。

愛知 「すき焼き」が52.4%となり5割以上でトップに。次が「焼き肉」「しゃぶしゃぶ」が同率で15.9%で並んでおり、「肉料理を食べる予定はない」は9.8%と10%と切っている。